

2015年12月4日

荷待ち時間を無くす取り組みの対応（荷主側の取り組みとして）

JX 日鉱日石エネルギー(株)大分製油所

陸上出荷管理センター 所長 玉井 照寿

<はじめに>

運送業界の労働時間管理問題は、積み込み地における荷待ち時間、(車輛の稼働効率に占める荷待ち)が大きなウェイトを占めていて、運賃収入確保に対する足かせとなっているといっても決して過言ではない。

こうしたなかで、運賃収入マイナス要素の改善は今後荷主に対して、力強く要請し続けなければ、永遠に改善は図られることはなく、ひいては無駄な車輛保有を余儀なくされることとなるであろう。

こうした実態を踏まえ、石油輸送を実施している JX グループとして、上記取り組みについて、現状を確認し荷待ちにおける実情に対して改善する点及び貢献している点について確認し取り纏めたので、その内容についてご報告いたします。

<改善が必要と思われる点について>

①基本的に運送会社としての考え方は、出荷基地（製油所）の出荷レーンは常に空いている状態が望ましい姿である。つまり何時でも車輛が積み込める状態の積み込み設備であることが理想であるが、製油所側の考え方は、少し位は待って貰っても良いと言った感覚を持っている人が多いのが現状。このことが荷待ち時間の発生素素となる根本的な原因の一つである。又、突発な出荷トラブル発生時は運送会車輛を平気で拘束し時間外発生の要因を惹起しているのも実態である。

結論としては、スムーズな出荷が出来ているかを考えた物流体制を各社（荷主）が再構築することに目を向けているかチェックすれば答えは解決に向かうと思われる。

<貢献していると思われる点について>

①出荷時間について

極力待ち時間が発生しないように15分刻みで入構するよう各運送会社へ調整し、更に、現場では誘導員2名を配備しスムーズに出線出来る様に毎日交通整理を実施。人的な解決で対応しているのが現状

②伝票発行業務について

乗務員は車輛から降りることなく（ドライブスルー5レーンを有し）伝票発行を実施。

これによる効果は絶大なものがあり、運送会社からの評価も高い。

(1回転当り10分は確実に短縮、月平均21日×3/TRP=10.5h)

③荷卸現場（ガソリンスタンドが対象）では

立会いが無くても安全に荷卸が出来る様に（DCD システム）を採用し、オーバーフロー防止、混油防止システムによる完全システム化を図って既に実施中。

具体的には、積荷の情報をガソリンスタンドの注入口までシステム化し、立会い者が居なくても荷卸が可能となっている。

これにより、ガソリンスタンド側より注文（発注の必要も無くなり）在庫状況は運送会社側で判るため、こちらでオーダーを作成し、常に在庫切れの無い管理も可能となっている。

2015年度 労働時間改善の取り組み



2015年12月4日
JX大分製油所陸上出荷
管理センター玉井 照寿

2015年度活動内容

目次

1. 早朝時の車輛誘導
2. ドライブスルー活用の推進・指導
3. 出荷伝票受け取りの(改善)
4. 製油所設備改善の取り組み
5. 荷卸し先の環境改善

2015年度活動内容

1. 早朝時の車両誘導

積み込み時間帯に車両が集中する時間に現場に誘導員を配備し、安全荷役と車両滞在時間を極力短くすることで稼動時間(手待ち)の改善を進めています。



2015年度活動内容

2. ドライブスルー活用の推進・指導

出荷伝票の発行は、乗務員が車輻に乗ったままで伝票発行が出来るようにし、積み込み時間の手待ち時間を最大限短縮し、滞在時間を短くしています。(効果絶大)



2015年度活動内容

3. 出荷伝票受け取りの(改善)

積み込み終了後出荷伝票の受領は、専用の投函箱を設置し、受け取りに掛かる時間短縮を図っています。



2015年度活動内容

4. 製油所設備改善の取り組み

乗務員の荷待ち(手待ち)時間と直接的な関係に結びつかないが、出荷設備の健全性を常に把握し恒常的な安定操業を推進することが、無駄な時間を誘発しない第一歩である。具体的には・・・

安全安定操業(荷役災害の防止)

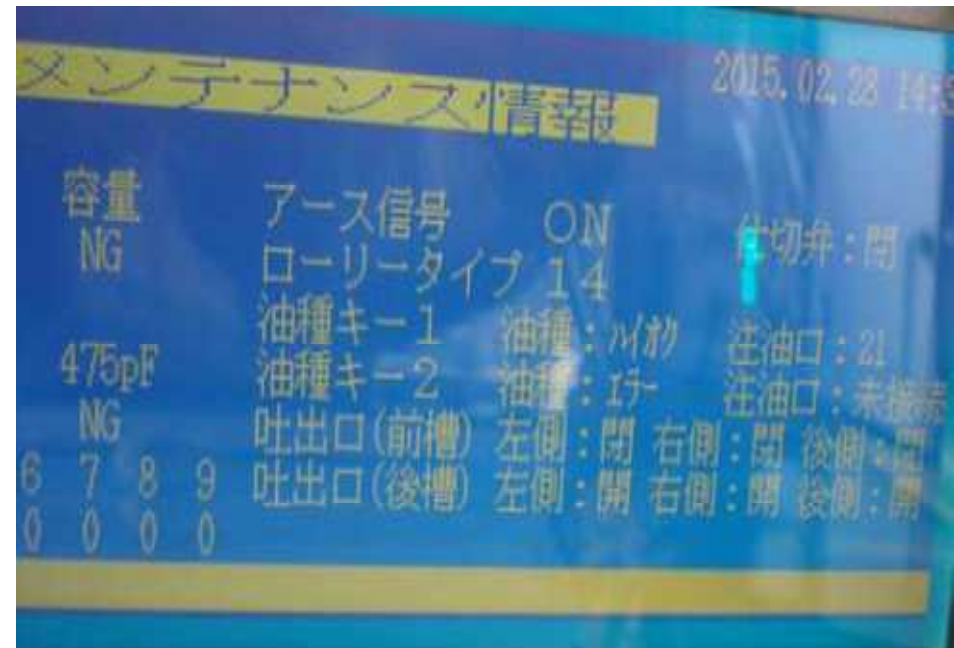
ハッチ内の残油確認不足によるオーバーフロー防止の撲滅に取り組む。

安全設備に頼らず、基本動作を守った上での取り組みを実施する。

2015年度活動内容

5. 荷卸し先の環境改善(混油事故防止)

車輻に積載した積み荷の情報を、荷卸先(S/S)の地下タンクへ間違いなく荷卸しする(ハイテク機器)の完全使用による荷卸を行い混油防止を図る。



最後に . . .

引き続き、当所は安全活動

(安全荷役・安全運行) に対する
取組みを推進して参ります。

『安全は凡てに優先する』

ご安全に！



おわり

石油連盟

Petroleum Association of Japan

<http://www.paj.gr.jp/>

Copyright © Petroleum Association of Japan All rights reserved.